

\* \* \*

## 学 会 記 事

\* \* \*

§ 平成 20 年第 4 回日本核医学会理事会  
議事録

日 時：平成 20 年 10 月 24 日 (金)

10 時 30 分～14 時 00 分

場 所：幕張メッセ 国際会議場 202号室

## 出席者：

理事長：遠藤啓吾

理 事：玉木長良，中條政敬，小須田茂，  
米倉義晴，日下部きよ子，松田博史，  
望月輝一，桑原康雄，伊藤健吾，  
中村佳代子，畑澤 順，菅野 巖，  
汲田伸一郎，絹谷清剛，山崎純一，  
竹田 寛，荒野 泰

監 事：久保敦司，小泉 潔

次期会長：油野民雄

次々期会長：本田憲業

幹事長：織内 昇

事務局：神田正子

## 欠席者：

理 事：福田 寛

(敬称略，順不同)

## 議題

## I. 審議事項

## 1. 日本核医学会定款・細則の変更

(1)(小須田茂理事)

平成 20 年 12 月 1 日をもって中間法人が廃止され，日本核医学会は一般社団法人となること，および定款，定款の変更に伴った細則の変更が承認された．今後，平成 20 年 10 月 24 日の第 4 回有限責任中間法人日本核医学会社員総会で承認を受けた後，平成 20 年 12 月 1 日以

降，野村憲弘弁護士が東京法務局に登録して発効する．

## 2. 平成 20 年度事業計画

(2)(玉木長良理事)

平成 20 年度事業計画について説明し，原案の通り承認された．

## 3. 平成 20 年度収支予算案

(3)(中條政敬理事)

平成 20 年度収支予算案を説明し，原案の通り承認された．

## 4. 久田賞について

(松田博史理事)

久田欣一氏から寄付の申し出があり，核医学会機関誌論文賞に名前を冠して来年から 10 年を目処に始めることとなった．学会賞選考委員会菅野巖委員長と編集委員会松田博史委員長が中心に検討し次回の理事会で具体化する．

## 5. その他

1) 平成 23 年の春季大会を大阪市の国際交流会館で行うことが畑澤順理事から提案され承認された．運営は理事長の下で学会事務局が行う．

2) 診療報酬改定の基礎資料となる外保連の試案を改定する担当者として，在京の若手の会員の中から日下部きよ子理事が推薦する．

3) 核医学検査の標準コード作成を埼玉医大の奥真也氏が第 50 回学術総会までに行う．

## II. 報告事項

## 1. 第 48 回学術総会状況報告

(米倉義晴理事)

第 48 回学術総会の概要について報告した．

2. 第 49 回学術総会準備状況報告  
(油野民雄次期会長)

平成 21 年 10 月 1 日(木)から 3 日(土)に旭川市で開催する。概要についての説明があった。

3. 第 50 回学術総会準備状況報告  
(本田憲業次々期会長)

平成 22 年 11 月 13 日(木)から 15 日(土)に大宮市のソニックシティで開催する。準備状況について日本核医学技術学会会長と話し合うことも含めて報告された。

4. 第 51 回学術総会準備状況報告  
(小須田茂次々々期会長)

平成 23 年 10 月 28 日(金)から 30 日(日)の 3 日間の日程で、つくば国際会議場での開催を予定している。

5. 第 9 回春季大会準備状況報告  
(4)(遠藤啓吾大会長)

平成 21 年 5 月 9 日(土), 10 日(日)にタワーホール船堀で開催する。経費を削減するため 2 日間の開催とするが、内容は大きく変わらない。なお平成 22 年は 5 月 8 日(土), 9 日(日)に同会場を予約済みである。

6. 平成 19 年度事業報告  
(2)(小須田茂理事)

資料に基づき平成 19 年度事業報告を説明し、原案の通り承認された。

7. 平成 19 年度収支決算報告  
(3)(中條政敬理事)

資料に基づき平成 19 年度収支決算が報告され損益計算書に基づいて説明し、原案の通り承認された。第 47 回学術総会の開催で学会に多額を寄付された福田理事に感謝状を贈呈する。

8. 委員会報告

1) 編集委員会

(1)(松田博史理事)

英文校正料が消費税を加算した額に改訂された。2008 年日本核医学会機関誌論文賞は大阪市立大学の濱澤良将氏に決定した。高橋延和氏に代わり立石宇貴秀氏が新しく

編集委員となった。学会誌の発送会社を変更して経費を節約した。

Ann Nucl Med と欧州核医学会の機関誌 EJNMMI との間で、1 年間の掲載論文のなかから約 40 編程度のサマリーを紹介する記事を相手方機関誌に相互に掲載することを計画していることが報告された。玉木長良理事が中心となり編集委員が分担するなどして継続をはかることになった。

2) 教育・専門医審査委員会

(6)(汲田伸一郎理事)

平成 21 年の春季大会プログラムの見直しが行われ、会期が 2 日間と短縮する件などが報告された。専門医制度についてはアイソトープ内用療法の実地研修は時期尚早であること、試験問題の各論の一本化、専門医カリキュラムおよび研修指導体制を確立すること等が報告された。PET 核医学認定医規定の改定案の作成および歯科医の PET 核医学認定についての歯科放射線学会との協議について報告された。また認定医の更新審査を行い承認したことが報告された。

3) PET 核医学委員会

(7)(伊藤健吾理事)

第 8 回春季大会 PET 研修セミナー受講者の追加認定および第 9 回春季大会 PET 研修セミナーのプログラム案について報告された。PET 核医学認定医の更新に向けて、必須条件として PET 研修セミナーの受講を含め、今後の進め方について報告された。PET 検査件数に関するアンケートについては、今回で 5 回目となるため検査件数の経年変化などを明らかにする。共同利用率については見直しを要望していくことが提案された。

4) 健保委員会

(日下部きよ子理事)

内照射療法の治療料認定の件は、それぞれの治療に見合った試算を求められており、着手していることが報告された。

## 5) 広報委員会

(中村佳代子理事)

Sr-89 などの核種の供給停止(不足など)は、アイソトープ協会が各学会に連絡し、学会はHPをアイソトープ協会のHPにリンクさせて周知を図ることになった。HPに掲載するバナー広告について、12月からの掲載を考えていることが報告された。

## 6) 放射線防護委員会

(米倉義晴理事)

空港のセキュリティーについて国内の航空機の保安団体と折衝し、国内では行われていないことを確認した。欧米では核によるテロの対策のために行っており、入国時が問題となっている。核医学検査時に患者がスリッパを履き替える際の転倒事故が多いので、スリッパ履き替えについてさらに検討することになった。

## 7) 倫理検討委員会

(竹田 寛理事)

新しい臨床試験の倫理指針を作成し、学会としての対応と会員への周知徹底をはかる。研究発表に際して利益相反についての公表が必要となるので、さらに検討することとなった。

## 8) 学会賞選考委員会

(8)(菅野 巖理事)

来年度から開始する日本核医学会アジア研究奨励賞の募集要項について説明された。それに伴い従来からの研究奨励賞の副賞を減額してアジア研究奨励賞の副賞に充てることとなった。

## 9) 核医学認定薬剤師に関する検討委員会

(荒野 泰理事)

認定薬剤師について議論していることが報告された。薬剤師の増加に関連して、認定薬剤師などの制度を歓迎する意見のあることが報告された。

## 9. 分科会活動

## 1) 腫瘍・免疫核医学研究会

(9)(絹谷清剛理事)

世話人に香川医科大学の西山佳宏氏(木村良子氏から変更)が就任したことが報告された。『神経内分泌腫瘍に対する<sup>131</sup>I-MIBG内照射療法の適正使用ガイドライン』は、看護に関する記載、施設認定、患者登録などを加えた改訂版を学会HPに掲載する。

## 2) 日本脳神経核医学研究会

(10)(桑原康雄理事)

『EBMに基づく脳神経核医学ガイドライン』は今年度中の完成を見込んでおり、HPに掲載する予定であることが報告された。

## 3) 日本心臓核医学会

(山崎純一理事)

来年の第19回心臓核医学会は6月26日と27日に品川のカンファレンスセンターで行われる。若手を対象とした講習会は、教科書を刷新し全国を8ブロックに分けて行っている。また玉木長良理事が心臓核医学会の理事長となったことが報告された。

## 4) 呼吸器核医学研究会

(竹田 寛理事)

今回の第20回呼吸器核医学研究会は5月23日(土)に東京で行う。第19回と同様に村上康二氏を会長として開催されることが報告された。呼吸器核医学診療ガイドラインは2,000円で頒布する。

## 5) PET 核医学分科会

(11)(伊藤健吾理事)

デリバリーPET委員会からのハンドブックがほぼ完成した。がんFDG-PET撮像法のガイドラインを日本核医学技術学会と合同で作成していることが報告された。また常任委員に福喜多博義氏が就任した。

## 10. 国外学会等連携担当理事

(中村佳代子理事)

## 1) 米国核医学会

来年トロントで開催される米国核医学会

の CE コースには本学会の企画として、桑原康雄氏がパーキンソン病をテーマとして応募しており、受理される見込みであることが報告された。

2) アジアオセアニア核医学会 (ARCCNM 兼務)  
( 玉木長良理事 )

10月31日から11月3日にニューデリーで開催される。途上国の教育プログラムとして11月1日にARCCNMのスタッフミーティングが行われる。

3) 日韓中核医学会  
( 玉木長良理事 )

中国で開催を予定しており、天津、青島で平成21年9月ごろに開催予定との連絡があったことが紹介された。次回は日本で開催が有力である。

11. その他

1) 幹事について  
(12)( 遠藤啓吾理事長 )

幹事を評議員から選考し、遠藤啓吾理事長を委員長とした選挙管理委員会(監事と幹事)が選挙を行うことを決定した。

III. 確認事項

1. 前回議事録(案)が承認された。  
(13)( 遠藤啓吾理事長 )

IV. その他

1. 次回理事会は平成21年2月9日(月)に開催する。
2. 第50回大会に向けて記念事業のための委員会立ち上げが提案され、当該大会の本田憲業会長が委員長として委員を選定し委員会案を作成する。
3. モリブデン・ジェネレーターの国産化について原研が中心となって検討しており、委員として小須田茂理事、荒野泰理事を派遣した。